

11とまきひがの子

立冬も過ぎて 冬が到来



冬が来た

高村 光太郎

きつぱりと冬が来た
八ツ手の白い花も消え
いちちょうの木もほうきになった
きりきりともみ込むような冬が来た
人にいやがられる冬
草木にそむかれ、
虫類に逃げられる冬が来た

冬よ
僕に來い、僕に來い
僕は冬の力、冬は僕のえじきだ
しみ透れ、つきぬけ
火事を出せ、雪でうめろ
刃物のような冬が来た



立冬も過ぎ、暦は冬。先日まで、暑い暑いと言っていました、急に寒くなりました。「冬が来た」は、わたしの好きな詩の一つです。読んでいると自然に力がわき、勇気づけられます。この詩は、「冬」を「人生の苦しみや厳しさ・苦しさ」にたとえています。「人（人生）とは、苦しみによってどうなるものだ」と言っているのでしょうか？
詩の「冬」の言葉を「つらさ」に置き換えてみましょう。「つらさよ、僕に來い、僕に來い。僕はつらさの力、つらさは僕のえじきだ」のように変わります。
「自分は、つらいことや苦しいことなんかに負けないぞ！来るなら來い。僕は逃げも隠れもしない。堂々とたたかってみせるぞ！」というような意味になるのでしょうか。
この詩では、「人の一生には、時には厳しさやつらさがあり、それを乗り越えていくんだ」、そして、「その苦しさに耐えてこそ、成長があり、大きな力を得ることができる」という意味があると、わたしは思います。

なかよしタイム

9月から、昨年に引き続き、「なかよしタイム」を開催しています。月に1回、下学年（1～3年）と上学年（4～6年）に分かれて、はげみの時間や放課に行っています。

養護の川渕先生の提案で運営をされています。18日の長放課に「すごろくトーキング」（上学年）、昼放課は「なかまあつまれ」（下学年）、を行いました。これは、楽しみながら温かい人間関係を育てるために考えられたゲームです。他の人との関わりの中で、心を開かせたり、思いやりを育てたり、意欲的な考えに変えたりする効果があります。全員が仲良く過ごせるように川渕先生も努力されています。



「なかまあつまれ」（下学年）

6年生が米河内町で防災発表！

11月9日(土)本校の6年生が、開元の集会場で、これまで学習してきた防災学習を発表しました。今回は、「土砂災害マイタイムライン」を、集まってくださった方々に実施しました。

「マイタイムライン」とは、台風や大雨の水害など、これから起こるかもしれない災害に対し、一人一人の家族や環境に合わせて、「いつ」「誰が」「何をするのか」をあらかじめ用紙に書いて計画することです。いざというときにあわてることがないように、避難に備えた行動を事前に決めておくものです。

先日の台風15号や19号のときにも、大型台風が発生し、「警戒レベル4」となり「避難警告」や「避難指示」が出されました。しかし、「どこへ避難したらよいか」「何を持っていったらよいかわからなかった」という意見がとても多くあったそうです。

このマイタイムラインは、家族で話し合っ
て、マイタイムラインシートを作成することにより、適切な避難行動を事前に確認できるようになっています。

ぜひ、多くの方がこのシートで家族で話し合い、見えるところに掲示していただくと幸いです。ご希望があれば、無料で配付しますので、学校までご連絡ください。

(常磐東小の連絡先TEL46-2108)



書き方を説明する6年生の児童

好天の常磐地区球技大会

11月10日(日)早朝より、常磐小学校で、常磐地域(3学区)合同球技大会が開催されました。常磐東学区からは、ソフトボールAとB、ソフトミニバレーボールAとBのチームが出場しました。好天の中、みなさんはいい汗を流してがんばっていました。



ソフトミニバレーボールAチーム

ほのぼの絵手紙入選!

中日新聞(夕刊)11月13日

土田 愛己さん

先週に引き続き、今週は土田愛己さんの作品が掲載されました。おめでとうございます。

テーマは、「わが街特集」です。常磐東学区のすばらしいところを絵手紙で紹介するのがねらいです。きれいな「灯籠流し」が描かれています。

